



2026年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2026年1月30日

上場会社名 ヤスハラケミカル株式会社

上場取引所 東

コード番号 4957 URL <https://www.yschem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安原 禎二

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営統括本部長

(氏名) 原田 桂子

TEL 0847-45-3530

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	11,358	4.1	1,337	3.1	1,626	3.3	1,150	4.2
2025年3月期第3四半期	10,906	9.7	1,379	188.9	1,575	105.3	1,104	42.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	126.81	
2025年3月期第3四半期	120.76	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	25,804	22,287	86.4
2025年3月期	27,725	21,067	76.0

(参考)自己資本 2026年3月期第3四半期 22,287百万円 2025年3月期 21,067百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期		6.00		6.00	12.00
2026年3月期		6.00			
2026年3月期(予想)				0.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,403	5.1	1,418	22.1	1,484	21.1	1,021	25.8	112.59

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	10,839,663 株	2025年3月期	10,839,663 株
期末自己株式数	2026年3月期3Q	1,764,065 株	2025年3月期	1,763,977 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	9,075,662 株	2025年3月期3Q	9,145,196 株

添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 経営成績等の概況(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況.....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況.....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(会計方針の変更に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(重要な後発事象の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期累計期間における我が国経済は、総合経済対策の効果が下支えとなり、賃金上昇が物価上昇を上回り、個人消費が増加するとともに、企業の設備投資も堅調な動きが継続するなど、引き続き、民間需要主導の経済成長となることが期待されております。一方、米国の保護主義的政策や中東情勢の不安定化、原油価格の変動など、外部環境の不確実性が依然として高い状況であります。

当社が関係しております粘着・接着・香料・電子材料・ラミネート業界におきましては、原材料価格やエネルギー価格の高騰による製造コストの上昇、製品の価格競争等により、引き続き厳しい経営環境となりました。

このような経済情勢のなかで、当社といたしましては、多様化する市場や顧客ニーズの変化を把握し高付加価値製品の研究・開発に努めるとともに、国内外の新規顧客の開拓、既存取引先との関係強化を推進し販売の強化・拡大に努める一方、生産効率の向上や業務の効率化をはかり、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高11,358百万円（前年同四半期比4.1%増）、営業利益1,337百万円（同3.1%減）、経常利益1,626百万円（同3.3%増）、四半期純利益1,150百万円（同4.2%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

第1四半期会計期間より、「ホットメルト接着剤」、「ラミネート品」の2つのセグメントを統合し、「機能性コンパウンド」へ変更しており、各事業の前年同四半期比につきましては、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた上で算出しております。

・テルペン化学製品

粘着・接着用樹脂においては、自動車部品用途の水添テルペンフェノール樹脂が低調に推移した一方、自動車部品用途および医療用テープ用途のテルペン樹脂が好調に推移したことにより増収となりました。化成品においては、電子材料用途の化学品が好調に推移した一方、土木用途の化学品および香料用途の化成品が低調に推移したことにより減収となりました。この結果、当事業全体の売上高は8,767百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益2,004百万円（同10.2%増）となりました。

・機能性コンパウンド

機能性コンパウンドにおいては、衣料・生活用品用途の粘接着及び自動車部品用途のアッセンブリが好調に推移した一方、食品用途の押出グレードが低調に推移したことにより減収となりました。この結果、当事業全体の売上高は2,590百万円（同8.8%減）、営業利益130百万円（同43.6%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末の資産につきましては、前事業年度末に比べ1,921百万円減少し25,804百万円となりました。これは主に、機械及び装置、仕掛品が増加した一方、現金及び預金、有形固定資産のその他の減少によるものであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ3,141百万円減少し3,516百万円となりました。これは主に、長期及び短期借入金の減少によるものであります。

純資産につきましては、前事業年度末に比べ1,219百万円増加し22,287百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年9月19日の「2026年3月期業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,021	3,221
売掛金	2,672	2,705
製品	2,756	2,844
仕掛品	2,159	2,573
原材料及び貯蔵品	5,883	5,711
その他	321	794
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	19,812	17,848
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	723	694
機械及び装置（純額）	304	1,153
土地	2,745	2,745
その他（純額）	1,253	413
有形固定資産合計	5,027	5,006
無形固定資産	316	270
投資その他の資産		
投資有価証券	1,460	1,721
繰延税金資産	291	106
その他	818	849
投資その他の資産合計	2,569	2,677
固定資産合計	7,913	7,955
資産合計	27,725	25,804
負債の部		
流動負債		
買掛金	468	643
短期借入金	1,700	-
未払法人税等	439	116
前受金	2	11
賞与引当金	214	51
その他	854	563
流動負債合計	3,679	1,387
固定負債		
長期借入金	1,849	1,000
退職給付引当金	657	629
役員退職慰労引当金	467	494
その他	4	4
固定負債合計	2,978	2,128
負債合計	6,658	3,516

(単位：百万円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,789	1,789
資本剰余金	1,729	1,729
利益剰余金	18,367	19,409
自己株式	△1,069	△1,069
株主資本合計	20,816	21,858
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	250	428
評価・換算差額等合計	250	428
純資産合計	21,067	22,287
負債純資産合計	27,725	25,804

(2) 四半期損益計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	10,906	11,358
売上原価	8,042	8,179
売上総利益	2,864	3,179
販売費及び一般管理費	1,484	1,841
営業利益	1,379	1,337
営業外収益		
受取利息	57	43
受取配当金	11	14
為替差益	108	248
その他	36	53
営業外収益合計	213	359
営業外費用		
支払利息	12	10
公開買付関連費用	—	59
その他	5	0
営業外費用合計	18	70
経常利益	1,575	1,626
特別利益		
固定資産売却益	—	1
特別利益合計	—	1
特別損失		
固定資産除売却損	—	0
特別損失合計	—	0
税引前四半期純利益	1,575	1,627
法人税、住民税及び事業税	403	372
法人税等調整額	67	103
法人税等合計	470	476
四半期純利益	1,104	1,150

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	テルペン化学製品	機能性コンパウンド	計	
売上高				
外部顧客への売上高	8,064	2,841	10,906	10,906
セグメント間の内部売上高又は振替高	90	83	173	173
計	8,155	2,925	11,080	11,080
セグメント利益	1,819	231	2,051	2,051

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,051
全社費用(注)	△671
四半期損益計算書の営業利益	1,379

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自2025年4月1日至2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	テルベン化学製品	機能性コンパウンド	計	
売上高				
外部顧客への売上高	8,767	2,590	11,358	11,358
セグメント間の内部売上高又は振替高	85	70	155	155
計	8,852	2,661	11,514	11,514
セグメント利益	2,004	130	2,135	2,135

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,135
全社費用(注)	△797
四半期損益計算書の営業利益	1,337

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

ホットメルト接着剤及びラミネート品では、市場の環境変化に伴い商品開発要求が多様化しております。顧客要求に対して、柔軟かつ迅速に対応できる体制を構築することで、事業の競争力の向上をはかるために、第1四半期会計期間より、「ホットメルト接着剤」、「ラミネート品」の2つのセグメントを統合し、「機能性コンパウンド」へ変更しております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報は、当第3四半期累計期間のセグメント区分に基づき作成したものを開示しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	223百万円	408百万円

(重要な後発事象の注記)

(株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更)

当社は、2026年1月9日付の取締役会において、2026年2月10日開催予定の臨時株主総会を招集し、株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更について付議することを決議いたしました。

なお、当社の普通株式は、上記手続の過程において、株式会社東京証券取引所の上場廃止基準に該当することとなり、2026年2月10日から2026年3月5日までの間、整理銘柄に指定された後、2026年3月6日をもって上場廃止となる予定です。上場廃止後は、当社株式を東京証券取引所スタンダード市場において取引することはできませんので、ご留意くださいますようお願いいたします。

(自己株式の消却)

当社は、2026年1月9日付の取締役会において、会社法（平成17年法律第86号。その後の改正を含みます。）第178条の規定に基づき、当社が保有する自己株式を消却することを決議いたしました。

なお、当該自己株式の消却は、2026年2月10日開催予定の当社臨時株主総会において、2026年3月10日を効力発生日とする株式併合に係る議案が原案どおり承認可決されることを条件としております。

上記内容の詳細につきましては、2026年1月9日公表の「株式併合並びに単元株式数の定め廃止及び定款の一部変更に関する臨時株主総会開催のお知らせ」及び同日公表の「自己株式の消却に関するお知らせ」をご参照ください。